

2005 年 1 月の東北地方の天候

【 1 月の特徴 】

- ・ 月平均気温は平年並
- ・ 中・下旬に強風や高波による漁船の転覆

(1) 2005 年 1 月の概況

上旬は強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まり、気温は東北南部を中心に低くなったが、中旬以降、強い冬型の気圧配置は長続きせず、気温は平年並で経過した。このため、月平均気温も平年並となった。

なお、中旬は発達した南岸低気圧、下旬は一時冬型の気圧配置が強まり、強風や高波のため漁船が転覆して2名が行方不明となった。

月平均気温は、東北地方で平年並。月降水量は、東北北部で多く、東北南部でかなり多い。月間日照時間は、東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。月降雪量は、東北地方で平年比117%と多い（東北日本海側で平年比120%、東北太平洋側で平年比115%と共に多い）。

(2) 各旬の天候経過

上旬：低気圧や寒冷前線が数日の周期で通過し、通過後は強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まった。このため、東北日本海側を中心に雪となり、大雪となる日もあったが、東北太平洋側では概ね晴れた。

平均気温は、東北北部で平年並、東北南部で低い。降水量は、東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は、東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。

中旬：初め、強い寒気が南下して冬型の気圧配置が強まり、東北太平洋側でも雪となった。その後は低気圧が数日の周期で通過し、冬型の気圧配置は長続きしなかった。特に、15～17日にかけては南岸低気圧が発達しながら北東に進み、三陸沖に達したため、東北太平洋側を中心に大雪となる場所があった。また、海岸には高波が打ち寄せ、小型船舶が転覆するなどの被害が発生した。

平均気温は、東北地方で平年並。降水量は、東北地方でかなり多い。日照時間は、東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。

下旬：低気圧や寒冷前線が数日の周期で通過し、通過後には一時強い寒気が南下したが、冬型の気圧配置は長続きしなかった。東北日本海側は雪の日が多かったが晴れる日もあり、東北太平洋側では概ね晴れた。

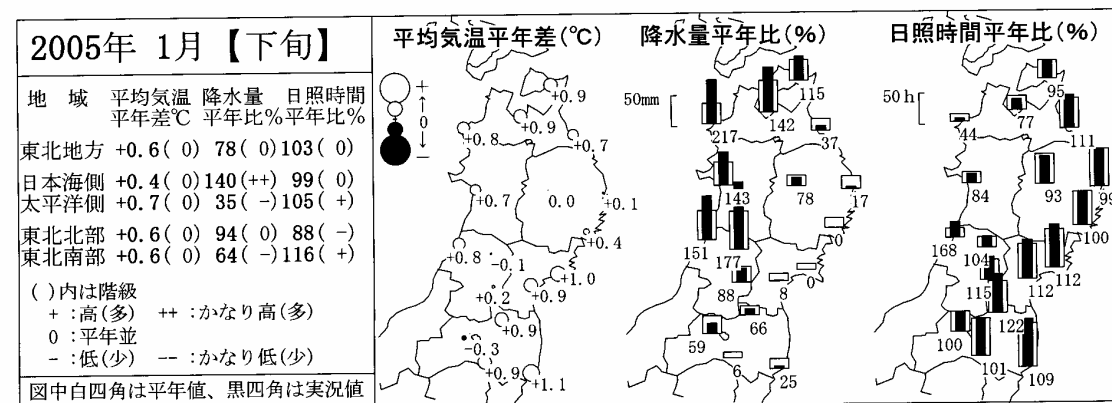
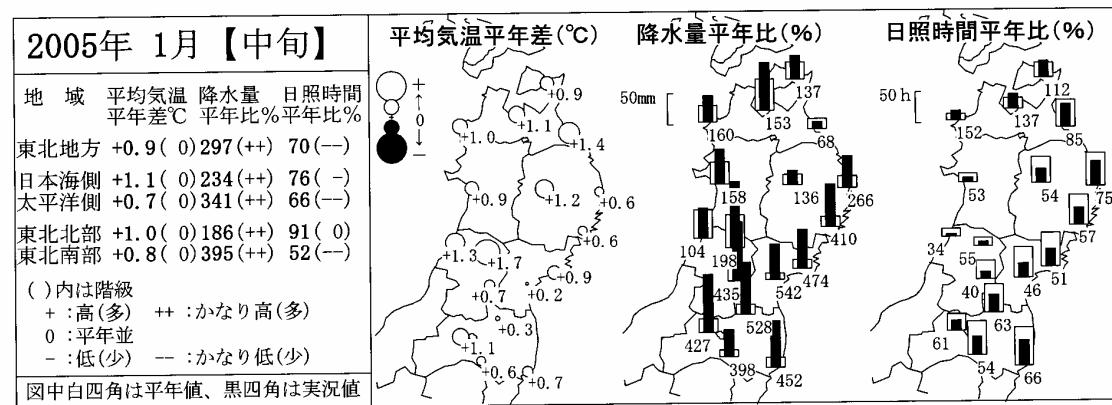
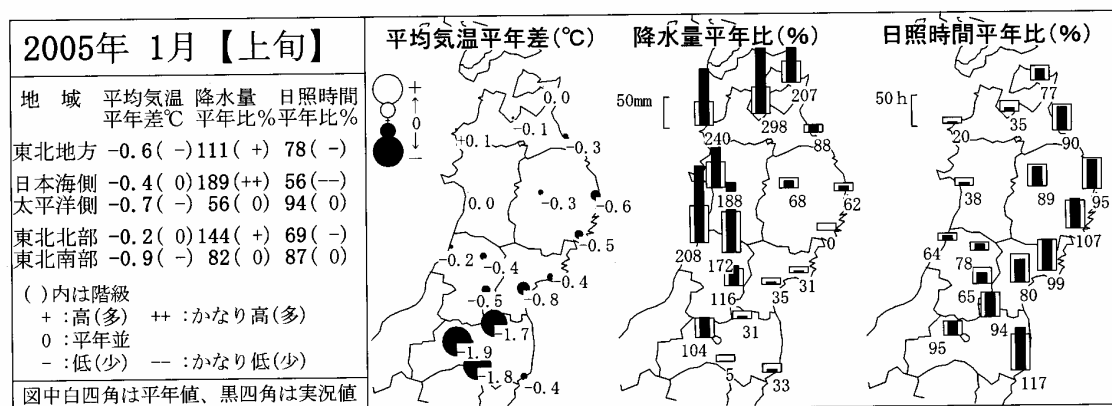
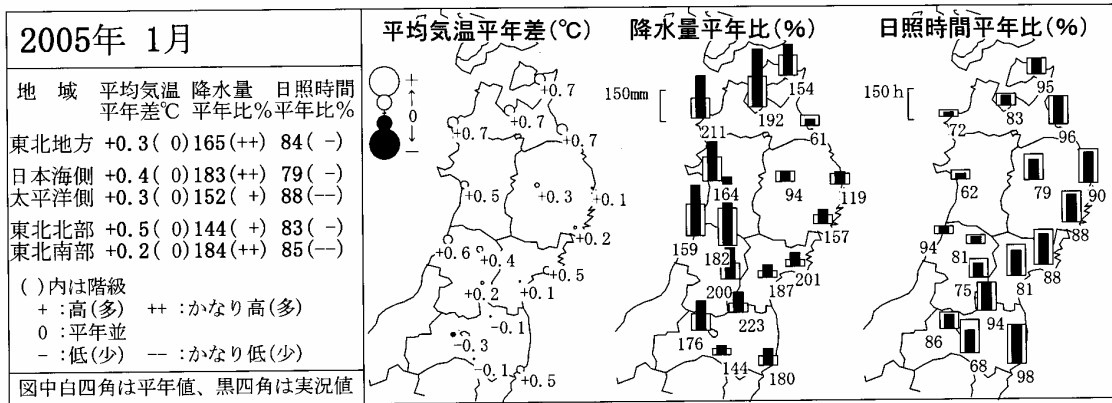
なお、22日や30日は冬型の気圧配置が強く、岩手県や宮城県で強風や高波のため漁船が転覆して2名が行方不明となった。また、23日には岩手県で雪崩により1名死亡した。

平均気温は、東北地方で平年並。降水量は、東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は、東北北部で少なく、東北南部で多い。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。
平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2005 年 1 月の月・旬平均 (合計) 値の平年差 (比)



注) 細分地域

東北日本海側 : 青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側 : 青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部 : 青森県、秋田県、岩手県

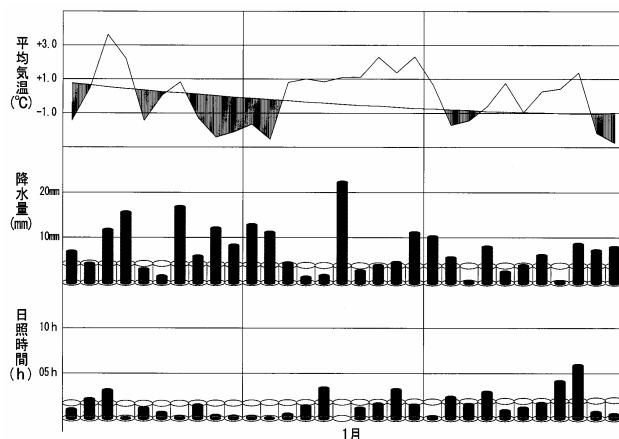
東北南部 : 宮城県、山形県、福島県

(4) 2005 年 1 月の月気候表

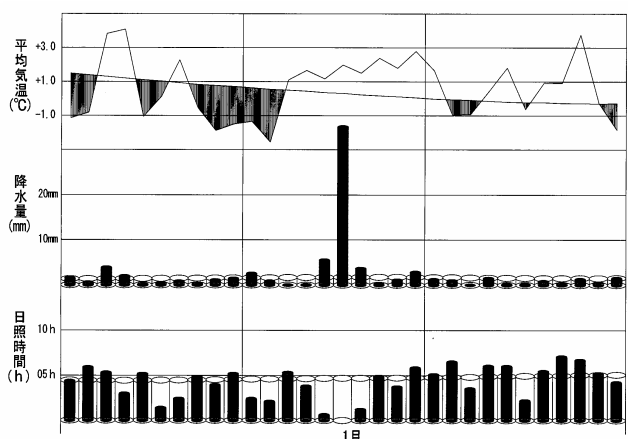
地 点	月平均気温(平年差)	月降水量(平年比)		月間日照時間(平年比)		月最深積雪(平年値)		月降雪量(平年値)	
	階級	mm	% 階級	h	% 階級	cm	cm 階級	cm	cm 階級
青森	-0.7 (+0.7) +	278.0 (192) + *		47.2 (83) -		131 (86) +		327 (271) +	
深浦	0.3 (+0.7) +	204.0 (211) + *		22.6 (72) -		41 (31) +		--- (---) ---	
むつ	-0.9 (+0.7) 0	148.0 (154) +		73.1 (95) 0		41 (47) 0		--- (---) ---	
八戸	-0.5 (+0.7) +	29.5 (61) 0		128.9 (96) 0		12 (18) 0		31 (39) 0	
秋田	0.4 (+0.5) 0	187.5 (164) + *		27.6 (62) -		27 (31) 0		99 (98) 0	
盛岡	-1.8 (+0.3) 0	47.5 (94) 0		97.7 (79) -		25 (27) 0		71 (60) +	
大船渡	0.9 (+0.2) 0	68.5 (157) +		130.6 (88) -		20 (7) + *		21 (13) +	
宮古	0.3 (+0.1) 0	62.5 (119) 0		146.7 (90) -		30 (12) + *		43 (21) +	
仙台	1.6 (+0.1) 0	62.0 (187) +		122.1 (81) - *		15 (11) +		16 (20) 0	
石巻	1.0 (+0.5) 0	66.5 (201) +		147.1 (88) -		21 (8) + *		--- (---) ---	
山形	-0.3 (+0.2) 0	151.0 (200) + *		67.4 (75) - *		60 (37) + *		165 (109) +	
新庄	-0.9 (+0.4) 0	329.5 (182) + *		34.8 (81) -		142 (97) +		--- (---) ---	
酒田	2.1 (+0.6) 0	242.5 (159) + *		37.4 (94) 0		23 (27) 0		89 (80) 0	
福島	1.3 (-0.1) 0	97.5 (223) +		128.9 (94) 0		21 (18) +		72 (44) +	
若松	-1.0 (-0.3) 0	142.0 (176) + *		69.3 (86) -		46 (44) 0		158 (139) 0	
白河	0.1 (-0.1) 0	44.0 (144) +		109.8 (68) - *		16 (14) 0		--- (---) ---	
小名浜	4.1 (+0.5) 0	83.0 (180) +		185.4 (98) 0		0 (3) -		0 (5) -	

観測値欄の記号は、×：欠測)：欠測日を含む : 現象なし ---：観測をしていない
階級は +：高い(多い) 0：平年並 -：低い(少ない) *は「かなり」を表す

(5) 2005 年 1 月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均(気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱)

注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000年の30年間に於いて出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6) 2005 年 1 月の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪、月降雪量の 3 位まで。ただし、新庄・むつ・白河・石巻の月最深積雪は、統計年数が 10 年未満のため極値・順位は掲載しない。また、新庄・むつ・深浦・石巻・白河の降雪量は観測していない。)

月降水量 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最大(mm)(年)	統計開始年	平年値(mm)
2 位	新庄	329.5	349.0(2002)	1986	181.4
3 位	青森	278.0	296.3(1922)	1886	144.9

月間日照時間 少ない方からの極値・順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最小(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
3 位	大船渡	130.6	107.6(1993)	1964	148.6

月最深積雪 大きい方からの極値・順位更新

順位	地点名	最深積雪(cm)	起日	これまでの最深(cm)(年)	統計開始年	平年値(cm)
2 位	大船渡	20	17	24(1998)	1964	7